

海から訪ねる 沖縄ガイド

琉球王国時代、港を中心に発展を遂げた沖縄。
かつての時代と同じく、港から訪ねてみると
沖縄の新たな魅力が見えてくる。

所要
目安

5時間

全工程

7km

那覇クルーズターミナルから国際通りまでは歩いて約20分。約1.6キロメートルの道のりは、アップダウンも少ないので散策にぴったり。国際通りは渋滞するため、タクシー利用は時間に十分な余裕を見ておきたい。



② 福州園

穴場的フォトジェニックスポット
那覇市と中国福州市の友好のシンボルとして1992年に開園し、夜間のライトアップ設備を追加して2022年にリニューアル。時間帯によって景色が変わる、異国情緒たっぷりの中国式庭園。
▶ 那覇市久米2-29-19
TEL098-943-6078

徒歩
7分



徒歩
10分



③ 国際通り

食べ歩きにショッピング、沖縄で最も賑やかな通り

沖縄の代表的な観光スポット「国際通り」は、戦後いち早く復興を遂げたエリアで、約1.6キロメートルの通り沿いに約600の土産店、雑貨店、飲食店などが立ち並び、沖縄グルメやショッピングが楽しめる人気の観光ストリート。



DMM かりゆし水族館

最新の映像・光・音で魅せる新しいカタチの水族館

ショッピングモール・イーアス沖縄豊崎内に、2020年5月にオープンした水族館。やんばるの森と青い海中世界を再現した2フロアからなり、2021年7月には円柱水槽にクラゲが漂う「クラゲよんない」など、3つのエリアをリニューアル。映像、光、音を用いた幻想的な空間は時間ごとに演出が異なり、訪れるごとに新たな発見があるだろう。

▶ 沖縄県豊見城市豊崎3-35
TEL098-996-4844

画像提供: DMM かりゆし水族館

① 波上宮 & 波の上ビーチ

沖縄で最も格式の高い神社
海の上の断崖に建つパワースポット

琉球王国王府から特別な扱いを受けた8つの神社・琉球八社の最高位にある「波上宮」。地元では「なんみんさん」と呼ばれ、良縁を結ぶ神社として親しまれる。崖下には、那覇市内唯一の海水浴場「波の上ビーチ」が広がり、砂浜からの神秘的な眺めも必見。

▶ 那覇市若狭1-25
TEL098-868-3697
(波上宮)
TEL098-863-7300
(波の上ビーチ)



④ 第一牧志公設市場

沖縄グルメが一堂に会する
那覇市民の台所

2023年3月にリニューアルオープンした市場。以前からの店舗に新店も加わり、パワーアップ! 新たな市場は3階建て。1階は魚や肉をはじめとする沖縄食材がそろう、2階の食堂街では1階で購入した食材を調理してもらい食べることもできる。3階には多目的室や調理体験室を備える。

▶ 那覇市松尾2-10-1
TEL098-867-6560



徒歩
5分



⑤ 壺屋やちむん通り ⑥ 那覇市立壺屋焼物博物館

ノスタルジックな焼物の町をぶらり

“やちむん”とは沖縄の方言で焼物のこと。琉球王朝時代に沖縄各地の陶工が集められた壺屋(つばや)地区。今も窯元の直営店などが軒を連ね、情緒あふれる街並みを残す。厚みのあるぼてりとした壺屋焼は、日用雑器として発展した焼物。お気に入りの器を探してみよう。
▶ 那覇市壺屋1-9-32
TEL098-862-3761(那覇市立壺屋焼物博物館)

国際色豊かな文化を育む海の玄関口

那覇港



2023年2月に共用開始した新たなクルーズ船用岸壁

那覇港第2クルーズバス



▶ 沖縄県那覇市港町4丁目
TEL098-868-2582(那覇港管理組合)

クルーズ船の大型化や那覇港への寄港増大に伴い整備され、23万トン級のクルーズ船まで受け入れが可能。空港や国際通りからは車で20分弱の距離。暫定共用のため、ターミナルビルは未整備。徒歩圏内にコンビニなどもないので、準備を整えてから出かけた。

空港や市街地から好アクセスなクルーズターミナル

那覇クルーズターミナル



▶ 那覇市若狭1丁目地先
TEL098-868-2582(那覇港管理組合)

空港から車で10分弱、国際通りへも歩いて約20分でアクセス。無料Wi-Fi が利用可能な施設内には観光案内所やATMのほか、外貨両替機も設置されている。2階には沖縄の伝統工芸品が展示され、3階には展望デッキもある。



龍柱
沖縄の神聖な守り神。高さ15メートル。那覇クルーズターミナルからの観光客を出迎える。

船旅の最大の贅沢は、360度を海に囲まれることだ。船上から美しい海が目に入る度に、沖縄を船で旅することがどれほど格別かを。加えて、豊かな自然や、独自の文化を体験できるのも沖縄クルーズの大きな魅力だろう。

沖縄は500年以上前から港の機能を持ち、琉球王国時代にはアジア交易の重要拠点として発展。現在も、世界最大級の大船を受け入れる港を増やすなど、アップデートを続けている。長きにわたり、港を中心に築えてきた地だからこそ、港から訪ねるとおもしろさや新たな発見がある。

コロナ前の2019年、沖縄への寄港数は、日本一を誇った。先の魅力に加え、空港と港間のアクセスがよいことや、県内に複数の寄港地を有すること、アジア諸国への周遊も同時にできることも人気の理由だ。そして今、行動制限された期間を取り戻すかのように、沖縄は観光客数を急激に伸ばしている。海外の大型客船が沖縄発着ツアーを運行開始するなど寄港数を増やし、飛行機で訪れて船で周遊するフライ&クルーズプランも人気を高めている。

訪れる度に新たな顔に出会える。だからこそ、多くの人が「沖縄クルーズ」に心惹かれるのだろう。

所要
目安

5時間

全工程

18km

それぞれの敷地内も広く、全行程を徒歩で行くのはかなりの健脚が必要。人気スポットなので寄港地ツアーの用意がある場合も多く、利用もおすすめ。首里城や識名園周辺では、タクシーも拾いやすいので上手に活用したい。



那覇港から

那覇の世界遺産をめぐる

沖縄では「琉球王国のグスク及び関連遺産群」として9つのスポットが世界遺産に登録される。その内4つは那覇市内にあり、半日あればめぐることができる。王国の軌跡をたどる旅へと出かけよう。



※2023年9月時の様子

買って応援！
復興アクション

沖縄土産としても人気の
復興支援グッズ



売上金の一部が首里城復興に関わる活動に寄付されるグッズが、今だけの記念品として人気を集める。首里城内「ミュージアムショップ球陽」などで購入可能。



①首里城

着々と復興する今だけの姿を目に焼き付けたい

世界遺産。2019年10月に火災に見舞われ、2026年の完成を目指し目下復元中の首里城正殿。「見せる復興」を掲げ、見学しやすいように資材の配置から工事動線までが綿密に練られ、展示などで丁寧な説明が行われる。伝統木造建築の技術を間近に見られる貴重な機会でもあり、刻一刻と変わりゆく建設中の姿は、まさに今しか見られない景色。ぜひ心にとどめたい。

▶ 那覇市首里金城町1-2
TEL098-886-2020 (首里城公園管理センター)

徒歩
3分

②園比屋武御嶽石門

国王の旅の安泰を祈願する礼拝の門

世界遺産。首里城公園内にある、1519年に築かれた王家の拝所。国王が城外に出る際には旅の安全を祈願した。扉以外は琉球石灰岩で造られ、木造建築に見られる様式を見事に表現する。

▶ 那覇市首里真和志1-7付近 首里城公園内
TEL098-886-2020 (首里城公園管理センター)



徒歩
5分



③玉陵

王朝の栄華に想いを馳せる
沖縄県唯一の国宝建造物

世界遺産。琉球王国の歴代国王やその一族が眠る陵墓。建造物としては沖縄県初かつ唯一の国宝に指定される。石垣に囲まれた大規模な墓所で、三角形の屋根を持った“破風墓”は、後に庶民の間に広まり沖縄で定番のお墓となった。一部が沖縄戦で砲撃を受け破壊されたが、1974年から3年をかけて復元し現在の形に。

▶ 那覇市首里金城町1-3
TEL098-885-2861



④首里金城町石畳道

風情ある沖縄の景色が
広がる石畳の小道

首里城から那覇港や本島南部へ続く主要道路として16世紀に琉球石灰岩が敷かれた石畳道。現在は、長さ300メートルほどを残すばかりだが、道沿いには古民家が立ち並び、風情ある散歩道として人気。雨の日は滑りやすいので注意を。

▶ 那覇市首里金城町2

徒歩
25分
もしくは
車で約8分



⑤識名園

「宝石を散りばめた箱庭」と称された庭

世界遺産。琉球王家最大の別邸で、県内唯一の国の特別名勝。大きな池の周りに中国風の石橋や琉球建築が随所に施された回遊式庭園は、かつて国王一家の保養や外国使臣の接待などに利用された。

▶ 那覇市宇真地421-7
TEL098-855-5936



ゆいレール旭橋駅下車すぐ、本島内は便利なバスで

那覇バスターミナル



▶ 那覇市泉崎1-20-1

市内路線や、県内各地への長距離路線が発着する駅直結型の複合施設。空港からはリムジンバスも乗り入れ、アクセスがいい。館内には、コンビニやコインロッカー、待合室などがそろう、コンシェルジュが常駐する案内所も。バス内での支払いは、現金または沖縄ICカード・OKICAのみ利用可能。

TEL098-867-7386
(バスサービスセンター)
※バスに関するお問い合わせ

地元ガイドと那覇の街を歩いて巡る

地元をよく知るガイドと那覇を散策するツアー「那覇まちま〜い」。

まちま〜いとは、街歩きを意味する沖縄の方言。歩いているだけではつい見逃してしまうようなスポットから有名観光地まで、知識豊富で個性豊かな地元ガイドの案内で巡る人気のツアーだ。事前予約制で、なかには一人から申し込めるツアーもある。

那覇初心者はもちろん、何度も那覇に通うリピーターも新たな那覇の魅力に出会えるだろう。

▶ 那覇市牧志3丁目2番10号 てんぷす那覇1F
(一般社団法人 那覇市観光協会 内)
TEL098-860-5780



所要
目安 **8時間**

全工程 **46km**

どのスポットも見応えがあるため、気になるスポットを厳選してじっくり鑑賞するのもおすすめ。平和記念公園やひめゆりの塔まで足を伸ばす行程なら寄港地ツアーや車利用がベター。①～⑨のスポットは港から遠くないので公共交通機関でめぐれることも可能。



那覇港から

沖縄の歴史と伝統をめぐる

戦争の記憶を色濃く残すスポットも多い沖縄南部。その歴史をたどり、平和の尊さに思いを馳せたい。伝統文化の分野でも独創的な発展を遂げ、「工芸の宝庫」と称される沖縄。その魅力に触れに行こう。



車で
約10分

① 沖縄県立博物館・美術館

歴史・文化・芸術を一挙に

博物館では沖縄の自然・文化・歴史を幅広く紹介し、美術館では沖縄県出身の作家を中心に近現代美術をそろえる。建物は、沖縄の城をイメージしたデザイン。

▶ 那覇市おもろまち3-1-1
TEL098-941-8200



② 那覇市歴史博物館

国宝を有する小さな博物館

国宝の琉球国王尚家関係資料をはじめ、寄贈美術工芸品や歴史資料を多数所蔵。特別展示室では国宝を中心に王国時代の美術工芸品や文書、常設展示室では首里・那覇の土族文化を紹介。

▶ 那覇市久茂地1-1-1
パレットくもじ4F
TEL098-869-5266

④ おきなわ工芸の杜

県内の伝統工芸品が一堂に会す

沖縄の国指定の伝統工芸品は16品目で全国3位。その伝統を未来につなげる場として2022年に新設。伝統工芸品に見て触れて学べるほか、体験もできる。

▶ 豊見城市宇見城1114-1
TEL098-987-0467



車で約30分

⑤ 平和祈念公園

沖縄戦終焉の地で平和の尊さを体感する

約40ヘクタールの広大な公園。南には、沖縄戦終焉の地となった糸満市摩文仁（まぶに）の丘陵を望む。園内には、沖縄戦の貴重な資料を展示する「平和祈念資料館」や、沖縄戦で亡くなった人の名を刻む「平和の礎」、世界の平和を祈念する「沖縄平和祈念堂」などが建立される。

▶ 糸満市字摩文仁444
TEL098-997-2765



③ 旧海軍司令部壕

沖縄戦を語る貴重な戦跡

迷路のような司令部壕は、1944年に人の手で掘られたもの。沖縄戦で地下陣地として使われ、司令官室、作戦室などが当時のまま残される。約4,000人の兵士が最後を遂げた壕内には、遺品や写真などが展示され、戦争の悲惨さや過酷さを訴える。

▶ 豊見城市宇見城236
TEL098-850-4055

車で
約15分

車で約4分
もしくは
徒歩約13分

伝統を担う作り手や作品に出会える！



「おきなわ工芸の杜」内には作家の工房が並び、制作風景を見学できるほか、作品の購入や、タイミングが合えば作家と交流もできる。ショップやカフェもあるので、お土産探しや休憩にも利用したい。



紅型・型染め作家の中山佳子さん



一生モノや
一点モノが
見つかる



車で
約10分

⑥ ひめゆりの塔

ひめゆり学徒隊をしのぶ

沖縄戦で看護要員として動員され亡くなった、ひめゆり学徒隊の慰霊塔。併設の「ひめゆり平和祈念資料館」には、遺品や遺影の展示や多くの犠牲者を出した伊原第三外科壕を実物大で再現する。

▶ 糸満市宇伊原671-1
TEL098-997-2100

所要
目安 **7時間**

全工程 **48km**

斎場御嶽まで港から車で約1時間。いずれか1スポットなら路線バスでの往復も可能で、所要時間は5時間程度。数箇所めぐらるなら寄港地ツアーやタクシー、チャーター、レンタカー利用がベスト。帰りは市内が渋滞するので、時間には余裕を持って行動したい。



那覇港から

本島南部の絶景をドライブ

青い海と白い砂浜だけでなく、多様な生物がひしめく原生林や鍾乳洞など、森の魅力にもあふれる沖縄の大自然。本島南部には神秘的な景勝地もたくさんあるので、前泊してのんびりめぐるのもおすすめだ。

② 玉泉洞

国内最大規模を誇る鍾乳洞

30万年以上かけて自然がつくりあげた全長5キロメートルの鍾乳洞。サンゴ礁から生まれた琉球石灰岩でできており、その規模に加え、100万本以上の鍾乳石の垂下、林立する姿は圧巻。2020年に照明演出をリニューアル。鍾乳洞の美しさがより感じられるようになった。

▶ 南城市玉城字前川1336(おきなわワールド内)
TEL098-949-7421(おきなわワールド)



① ガンガラーの谷

ウフシュ
大主ガジュマルに圧倒される
太古の世界を歩くガイドツアー

数十万年前の鍾乳洞が崩壊してできた亜熱帯の森を、約1時間20分のガイドツアーで巡る(要事前予約)。約2万年前の人類、港川人の居住跡の可能性から今も発掘調査が行われており、出発場所の洞窟からは、世界最古2万3000年前の貝製釣針が見つかった。

▶ 南城市玉城字前川202
TEL098-948-4192



ツアー出発場所の洞窟

徒歩
約3分

③ ニライ橋カナイ橋

本島南部の絶景ドライブコース

ニライ橋とカナイ橋、二つの橋が連なり海へ向かって大きくカーブを描く人気のドライブコース。橋の頂上付近にはトンネルがあり、その上部は展望台となっている。展望台からは橋の全景や知念岬、海上の久高島などが見渡せる。

▶ 南城市知念字知念



車で約20分

瀬長島ウミカジテラス

飛行機を間近に臨む
幻想的なサンセット



夕日の名所として名高いリゾートエリア。海に面した傾斜地にカフェやレストランが並び、海向こうにある那覇空港へ離発着する飛行機を眺めながら、ゆったりした時間を過ごせる。

▶ 豊見城市瀬長174-6
TEL098-851-7446



車で約3分

④ 知念岬公園

知る人ぞ知る「絶景岬」

海へ突き出た岬にある公園。久高島やコマカ島を間近に太平洋の大パノラマを堪能できる。知念体育館の裏にあり、知らないとき通り過ぎてしまうことも。朝日と夕日はわざわざ行く価値のある美しさ。

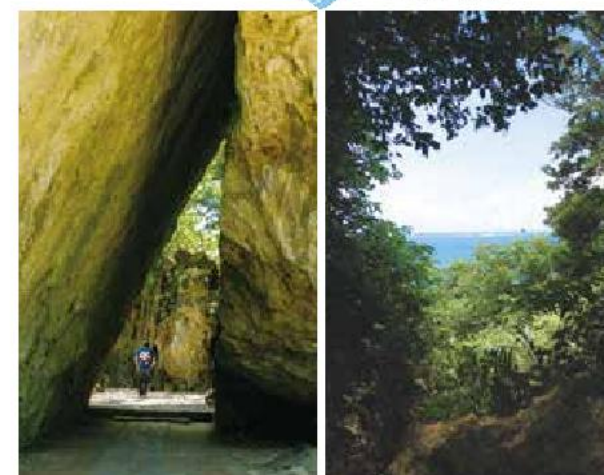
▶ 南城市知念字久手堅

⑨ 斎場御嶽

琉球王国最高の聖地

世界遺産。御嶽とは聖地のこと。県内に約900カ所あるが、琉球王国の創世神・アマミキヨが作られたとされる斎場御嶽は最も格が高く、琉球王朝時代には国家的な儀式が行われてきた。今も祈りを捧げる場所として崇拝されている。

▶ 南城市知念字久手堅地内
TEL098-949-1899





沖縄本島 北部 MAP

●本部港本部地区
旅客待合所なし/Wi-Fiなし/トイレあり/
コンビニエンスストアあり(徒歩3分)

② 備瀬のフクギ並木

海風が心地いい緑の散歩道
フクギは、防風林として集落を守る樹木。伊江島を臨む海岸線沿いに群生し、木漏れ日が優しく降り注ぐ緑のトンネルをつくる。「福木」と書くことから、幸せを呼ぶパワースポットとしても注目を集める。

▶ 国頭郡本部町備瀬



車で約5分
もしくは
徒歩
約15分

車で約6分

③ 田空の駅 ハーソー公園

食と農の
ワンダーランド

農家レストランや直売所を併設する道の駅のような公園。もともと型農業の推進拠点として生まれた施設で、農産物の収穫体験ができるほか、ヤギなどの動物とも触れ合える。2022年にはキャンプ場も新設された。
▶ 国頭郡本部町具志堅1334
TEL0980-48-3835

車で約5分

2025年夏
誕生予定の
新スポット!



JUNGLIA ジャングリア

期待の自然体験型テーマパーク

やんばるの大自然を体験できる大型エンターテインメント施設が誕生する。今帰仁村と名護市にまたがる、東京ドーム約13個分のゴルフ場跡地を利用。「都会にはない興奮と驚沢のテーマパーク」とし、最先端技術と大自然を生かした体感型アトラクションや、非日常的なスバ施設などを計画。2025年夏の完成が楽しみだ。

▶ <https://junglia.jp/>

画像提供: ジャパンエンターテインメント

美しい港として名高い北部の拠点

本部港

22万トン級の客船が接岸可能な本島北部の玄関口。港周辺には旅客に便利な施設がそろ。沖縄を代表する人気スポットが多い北部エリア。透明度の高い海や亜熱帯の森など、自然の宝庫でもある。



自然が多く残るやんばるエリアの海の玄関口。美ら海水族館まで15分、他の主要な観光地も車で30分圏内に魅力的な場所に位置。タクシーやレンタカーの台数には限りあり。寄港地ツアーへの参加や事前のレンタカー予約などの検討を。



① 沖縄美ら海水族館

世界一と世界初に遭遇! 沖縄の海を丸ごと体感

世界最長飼育記録を更新する魚類最大のジンベエザメや、世界初の繁殖に成功したナンヨウマンタが観察できる巨大水槽「黒潮の海」は、あまりにも有名。沖縄のサンゴ礁を再現した「サンゴの海」や、謎に包まれた深海世界を覗く「深層の海」のほか、館外にはイルカやウミガメ、マナティの施設もあり。

▶ 国頭郡本部町石川424 TEL0980-48-3748



車で約5分



⑤ アセローラ フレッシュ

人気ドリンク「アセローラフローズン」

1粒でレモン約5個分のビタミンCを摂取できるアセローラは、沖縄が生産量日本で本部町はその主産地。2015年開催の「ニッポン全国ご当地おやつランキング」でグランプリに輝いたドリンクで味わいたい。

▶ 国頭郡本部町並里52-2 TEL0980-47-2505



今帰仁グスク
桜まつり

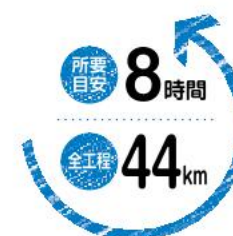


沖縄本島 中部 MAP

本島各地への旅の拠点としても優秀

中城湾港

天然の良港。16万トン級のクルーズ船が寄港可能になり入港船数を増やす。中部エリアには個性ある町が集まり、アメリカ文化がミックスされた街並みや自然景勝地、テーマパークなど見どころも多い。



中部観光は寄港地ツアー利用が効率よい。タクシーの台数に限りあり。レンタカー店は少なくないが、利用時には送迎の有無を確認したい。各紹介スポットは、路線バスでの往復も可能だ。



① 勝連城跡

城壁が優雅な曲線美を描く難攻不落の城

世界遺産に登録される沖縄の5つの城の内、最も古い城。15世紀に海外貿易で勝連地区に繁栄をもたらした阿麻和利(あまわり)の居城で、うるま市の東海岸から海に突き出す半島の丘の上にあり、自然の断崖を利用。標高100メートルの頂上から眺める大海原は格別。

▶ うるま市勝連南風原3807番地2
TEL098-978-2033(あまわりパーク管理事務所)



車で約30分

車で約32分



③ 美浜エリア

異国情緒漂う美浜エリア

異国情緒あふれる美浜エリアは、地元の若者にも人気のタウンリゾートスポットです。カラフルな街並みを散策しながら、個性豊かなカフェやレストラン、ショッピングを楽しむことができます。海辺に広がる開放的な景観と美しい夕日が魅力で、昼はのんびりと散策を、夜はライトアップされた幻想的な雰囲気の中で賑わいを満喫できます。

▶ 中頭郡北谷町美浜

車で約20分



④ 中城城跡

ペリー提督も称賛した建築技術

世界遺産。沖縄のグスクの中でも最も遺構を残し、その造形美から当時の高度な技法をうかがい知ることができる。標高約160メートルの頂上からは、中城湾、東シナ海のパノラマが見渡せる。

▶ 中頭郡中城村字泊1258 TEL098-935-5719

地元ならではの
お土産を発見!

沖縄県民も立ち寄る! 個性あふれる「道の駅」

県内各地に点在する「道の駅」は、地元でも人気のスポット。道の駅グルメやお土産探しなど、ローカル感を楽しみたい。



道の駅かでな

隣接の嘉手納基地を展望所から一望できるスポットとして有名。2022年にリニューアルし、グルメも充実!

▶ 中頭郡嘉手納町字屋良1026-3
TEL098-957-5678



海の駅あやはし館

県内有数のドライブスポット。全長約5キロメートルの海中道路の中央にあり、船の形をした建物が目印。

▶ うるま市与那城屋平4
TEL098-978-8830

宮古島MAP



●平良港クルーズ岸壁
2022年3月、クルーズ船専用岸壁として完成
クルーズターミナルあり/トイレあり/Wi-Fiあり/観光案内所あり/喫煙所あり

1 宮古神社

国内最南端で島唯一の神社

港から歩いて約10分、市街地までの道程にある。1590年建立で熊野三神と豊見城三神を祀る。開運のパースポットとしても有名。

▶宮古島市平良西里5-1
TEL0980-72-6137



3 宮古島海中公園

服を着たまま海中世界へ

高い透明度で知られる宮古島の海中を誰でも気軽に覗ける施設。水深3~5メートルに24個の窓があり、一日平均で60~80種類の魚を観察できる。

▶宮古島市平良字狩俣2511-1
TEL098-074-6335

5 伊良部大橋

青い海を走る日本一長い橋

伊良部島に渡る橋。2015年開通。無料橋、また離島同士を結ぶ橋としては日本最長の3,540メートルを誇る。海の上を走っている気分になれる宮古島きっての人気ドライブルート。

車 車で約24分

食いたい! 宮古島グルメ



島の駅みやこ本店
▶宮古島市平良字久貝870-1 TEL0980-79-5151
ファーマーズマーケットみやこ「あたらす市場」
▶宮古島市平良西里1442-1 TEL0980-72-2972

珍しい食材の宝庫 ご当地の味を発見!

島野菜や果物、ローカルパンなど、珍しい特産品やグルメが並ぶマーケットは、驚きや発見がいっぱい。島内には、ヤギ肉の自販機も点在。島で愛されるソウルフードを楽しんでみては?

13世紀に開かれた宮古群島の中核

平良港 (宮古島)

島唯一の重要港湾。22万トン級の客船が着岸可能。珊瑚礁が隆起してできた島で、宮古ブルーと呼ばれる海の美しさは圧倒的。本島や八重山とも違う、宮古独自に築かれた伝統や文化にもぜひ触れたい。

所要目安 8時間

全工程 65km

島一周は車で4時間程度だが、伊良部島や池間島など車で行ける離島も多い。路線バスは生活路線のため、効率よくめぐらなれば、寄港地ツアーやタクシーチャーター、レンタカー利用の検討を。

車で約7分



2 砂山ビーチ

天然アーチが印象的な絶景ビーチ



白い砂浜に青い海というイメージ通りの海の絶景が楽しめる。市街地からの近さも人気の理由。波の浸食によってできたアーチ状の巨大岩があり、その奥に沈む夕日は感動的。砂はサラサラで歩きやすく、ビーチもコンパクトなのでちょっとした散策にぴったり。

▶宮古島市平良荷川取



4 雪塩ミュージアム

宮古島で生まれた雪塩

沖縄土産で定番人気の「雪塩」。その製造工程の見学や、使い方を学び体験できる。ショップも併設し、ここでしか買えないお土産やグルメも。予約不要。

▶宮古島市平良字狩俣191
TEL0980-72-5667

6 株式会社 多良川

洞窟内で泡盛を熟成する蔵元

1948年創業。愚直に麹と向き合う泡盛造りを行う。酒造所近くには洞窟貯蔵庫があり、5~12年かけて古酒に仕上げる。洞窟内や製造工程の見学を1日3回実施する。

▶宮古島市市城辺砂川85
TEL0980-77-4108



7 イムギアマーリンガーデン展望台

宮古島屈指の美景スポット

自然地形を生かした海浜公園。イムギアマーは、方言で海の湧き水のこと。天然遊歩道で海を渡り、展望台では息を呑む絶景を見渡せる。入江は穏やかでシュノーケルの名所でもある。

▶宮古島市城辺友利605-2



石垣島MAP



●石垣港クルーズ岸壁
ユグレナ石垣港離島ターミナルまでシャトルバスで10分(不定期運行)
クルーズターミナルなし/トイレあり/Wi-Fiなし/喫煙所なし
(クルーズターミナル建設中。2025年度内完成予定)

八重山諸島の中心地、日本最南端の港

石垣港 (石垣島)

東南アジア諸国からのゲートウェイ的役割も担う。珊瑚礁に囲まれた島は自然景勝地にあふれ、特に海はマンタに出会えるとして世界的に有名。八重山諸島への拠点でもあり、離島も一緒に楽しみたい。

所要目安 9時間

全工程 96km

島一周は車で約3時間。島全体に見どころがあるので寄港地ツアーの利用など、事前にプランを練りたい。タクシーやレンタカーも十分にあり、主要な観光地であれば、路線バスの活用も◎。



1 玉取崎展望台

美しい海とハイビスカス海

小高い丘にあり、くびれが美しい伊原間(いばるま)湾や、はんな岳が一望できる。展望台へ続く遊歩道には通年ハイビスカスが咲き誇り、島の美しさと南国気分が楽しめるスポットだ。

▶石垣市伊原間

3 石垣やいま村

八重山の文化と自然を体験

国の有形文化財である古民家4棟を移築し、古き良き八重山を再現したテーマパーク。園内では、人懐こいリスザルとの触れ合いやマングローブ散策も。

▶石垣市名蔵967-1
TEL0980-82-8798



2 川平湾

カピラブルーに魅了される島一番の絶景地

世界有数の透明度の高さを誇るエメラルドグリーンの海と白い砂浜、緑豊かな島々が織りなす景勝地。一見穏やかに見えるが、流れが早いので遊泳は禁止。サンゴや熱帯魚の生息地でもあり、ガラスの船底から水中を観察できるグラスボートも人気。

▶石垣市川平 川平公園(川平公園展望台)

5 ユグレナモール

日本最南端のアーケード商店街

約70店舗が軒を連ねる、島一番の繁華街。飲食店やお土産店、服や雑貨などなんでもそろそろ。離島ターミナルやバスターミナルからも近く、雨の日や時間調整にも便利。

▶石垣市大川203



6 竹富島

沖縄の原風景を残す離島

サンゴの白砂が敷かれた道に赤瓦の屋根が連なる、昔ながらの町並みの竹富島。外周約9キロメートルの小さな島で、集落は1時間もあれば一周できる。水牛車に揺られながらの観光も楽しい。

▶八重山郡竹富町



4 あざみ屋みんさー工芸館

みんさー織りを見て買って体験

八重山諸島に伝わる伝統的な織物、みんさー織。みんさーは「綿で織られた幅の狭い帯」の意味。皇室も御用達の丈夫で上品なみんさー織。バッグや服、生活用品などがあり、お土産にも自分用にもおすすめ。併設の工房では手織体験ができ、資料展示室ではその歴史や製作工程を学べる。

▶石垣市登野城909 TEL0980-82-3473



工芸館の敷地内に2023年開店

café FIVE FOUR EVER

島時間を満喫できるカフェ

どこか懐かしい内装には、古民家の欄間やガラス、反物などをアップサイクル。名物は地元の牛乳をたっぷり使った自家製ワッフル。そのほかにも波照間島の黒蜜、ユグレナなど、島ならではの食材を使用。

▶石垣市登野城908-1 あざみ屋みんさー工芸館内
TEL0980-87-6555



港から沖縄観光するときの注意点

※夏以外の季節も日差しが強い日が多いので、日中は帽子やサングラス、日焼け止めの利用をおすすめします。特に屋根のない自然スポットをめぐるときは注意を。水分補給もこまめに行いましょう。

※一方で、空調や天候で肌寒さを感じることも少なくありません。雨天も多いので、防寒具や雨具の携帯を忘れずに。

※クルーズ船のターミナルとフェリーなどのターミナルが離れていたり、複数の客船が停まっていたり、港や桟橋が複数ある場合もあります。タクシーなどで行き先を「港」と告げると誤った場所へ向かってしまうこともあるので、客船名や港の住所を伝えたと安心です。

※沖縄本島内、特に那覇市内の夕方は車が渋滞する傾向にあります。港への帰着時は、時間に余裕を持ちましょう。